

## 市長と語ろう地域ミーティング〔 王子保地区 〕開催結果

開催日時 平成21年4月17日(金)午後7時30分から9時まで

会場 王子保公民館 2階

出席者(地区)38人

(市側) 市長、水道部長、農林整備課長、都市整備課長、  
公共交通対策室長、産業環境部政策幹、建設部政策幹、  
教育委員会政策幹

進行 財務課長

記録 (市民自治推進課)主幹

担当 (秘書広報課) 主幹

### 市民憲章唱和

#### 王子保地区自治振興会会長あいさつ

皆さん、こんばんは。今日は金曜日の夜ということもあり、大変お忙しい中、またお疲れの中、王子保地区の「市長と語ろう地域ミーティング」に多くの方にご参加いただいたこと、次期地域振興会役員一同になりかわりまして、心から厚く御礼申し上げます。

また、今日は大変お忙しい中、市長をはじめ各部長、課長におかれましては、王子保に来ていただいたこと、心から厚く御礼申し上げます。また、市長をはじめ各部長には、王子保地区にいろいろとご尽力を賜り、私達も心から喜んでいる次第です。

今日は、市長から我々にわかりやすく説明をしてくださるとのことです。どうか、皆さましばらくの間ではございますが、後ほどいろいろと質疑もしていただきたいと思います。ご承知のとおり、世界的に、日本も、越前市も、そして私たち零細企業も、大変な時代を迎えております。地区の皆さまのお勤めやご商売にいろいろと不安もあるでしょうが、どうか何事にも耐えていただきまして、立派な王子保地区、立派な越前市を作るために、今後とも王子保地区自治振興会にご尽力、ご協力を賜りますこと、心からお願い申し上げます。御礼とお願いの言葉に代えさせていただきます。本日は、よろしく願いいたします。

#### 王子保地区役員紹介

副会長、事務局長

#### 市長あいさつおよび説明

(添付資料参照)

出席職員の紹介

代表質問

Q 1 : 事務局長

**< JR王子保駅前の県道カーブの拡幅について >**

4年連続のお願いとなるが、王子保駅前の県道の大きなカーブ部分について、非常に交通量が多くて危ない状況です。色々難しいしがらみ等あるかと思いますが、拡幅するなど解決策について、現段階での進捗状況をお聞かせ願いたい。

A 1 : 市長

JR王子保駅前の道路の改良につきましては、これまでも地域ミーティング等でご要望を受け、市としましては県丹南土木事務所に強く要請してまいりました。

地区と市からの要請を受け、県では昨年度より、調査・検討を始めていただいたと聞いており、今年も引き続き調査をしていただいていると聞いています。

ご理解をいただきたいのは、国の道路特定財源の一般化という流れの中で、県においても道路の整備は縮小という方向であり、市から要請しても、すぐに着手してもらえないのが現状です。

市といたしましては、今後も引き続き要望してまいりますので、地区の皆さまにも一緒に要請していただくことと、現時点では速やかにはお応えできないことをご理解いただきたいと思います。

Q 2 : 事務局長

**< 通学路の安全整備のお願い >**

地域の防災安全部会等で、子ども達が安全に通学できるように、子ども達の意見を取り入れながら、地区全体の中で危険なところをチェックしているところです。園児・小学生が登下校する通学路におきまして、昨年、園児が用水路に転落する事故が起きました。農道で、道路から用水までの高低差があり、危険な箇所が何箇所かあります。昨年も市の方でお願いしたところですが、箇所的に多い場所もありますので、一気に解決するのは難しいとは思いますが、少しでも解決できる対策があるのならお聞かせ願いたい。

A 2 : 教育委員会政策幹

ご指摘の現地を確認しましたところ、道路東側路側と排水路の底との高低差は約1.3mあり、道路幅員や道路の形態および車両の通行量など交通の状況を総合的に勘案した場合、通学児童が転落する可能性は皆無とは言い切れないものの、転落防護柵の設置の必要性は小さいと思われます。

このようなことから、ハード面の対策を施すよりも、通学児童の登下校時の安全教育な

どソフト対策を徹底するほうが効果的であると思います。

そこで、転落事故以後、当分の間、幼稚園の降園時における引率を1名増やし、2名で対応しました。

今年度につきましても、幼稚園の入園式以降、集団降園に慣れるまでの当分の間については、職員、保護者等の協力のもと2名で対応しているところです。

また、各学校・幼稚園におきましては、新学期を迎え、通学路における安全な登下校の指導を徹底して行っています。

自治振興会の安全・防災部会を始めとする地域の皆様には、日頃から登下校の安全確保にご支援いただいているところですが、今後ともより一層のご協力をお願いいたします。

Q3：事務局長

<松ヶ鼻園地の整備について>

越前市の緑化推進方針では、「日野川河川敷を利用した日野川河川緑地や、松ヶ鼻園地を適切に管理する」。また、「丹南ふれあいスポーツレクリエーションロード（サイクリングロード）の利用環境を高める為に舗装の維持管理、休憩施設や公園の整備を努める」となっています。

しかしながら、松ヶ鼻園地においては、いまだ整備に向けた取組みが行われておらず、夏から秋にかけては、背丈以上に伸びたススキが生い茂り、治安面の不安を感じ憩いの場とはほぼ遠い状況です。市の緑化方針の今後の計画と松ヶ鼻園地の計画についてお聞きします。

A3：建設部政策幹

松ヶ鼻園地については、サイクリングロードの維持管理に併せ除草等を行ってきましたが、現場を見ますと、ご意見のように現在まで十分な管理ができてこなかったと思います。

新たな整備計画はございませんが、今後、市がやらなければならないところと地元の皆さまにお願いしなければならないところがあるかと思えます。今後、地元の皆さまと充分協議させていただきまして、良好な自然環境を残しつつ適切な管理がなされ、水辺空間を活かしくことが大切であると考えますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

Q4：瓜生野町区長

<広域林道、越前南部線に取り付け林道新設について>

以前からお願いしている、瓜生野町より、森林基幹道 越前南部線に取り付ける、林道新設（三ツ木谷線）の今後の見通しはどうなっていますか。

A 4：農林整備課長

お尋ねの越前南武線取り付け林道（三ツ木谷線）の新設につきましては、平成12年ごろからルート協議をしたものの、起点の位置の協議が進んでおりません。

平成18年11月に区長さんが来庁された時に確認させていただきましたように、越前市の林道新規開設については、事業1箇所を実施する計画となっており、現在、中印町の上月尾線を進めておりますので、この路線が終了後に着手する計画であります。

これからは、起点を含めたルートについて協議していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

Q 5：瓜生野町区長

<森久町より瓜生野町間の市道拡幅について>

森久町より瓜生野町の区間の道路が狭いので、車のすれ違いが困難であり、特に大型車の場合、出来ない状況です。積雪の間は、普通車でもすれ違いが出来ない状況です。少しずつでも、道路拡張をお願いいたします。

A 5：都市整備課長

現在、王子保地区においては、国兼町と大塩町を結ぶ市道を整備中です。交通量が多くて、歩行者もたくさんいらっしゃるということから、改良させていただいています。市の道路改良の基本的な考え方としては、改良後の道路幅員が6メートル以上確保されること、そのために用地が必要となる場合は無償提供していただくことを原則としております。

道路改良の際には地元のご理解とご協力が必須条件となりますので、まずご理解をいただきたいと思っております。

交通量が多い、歩行者数が多い等、危険性が高い路線を優先的に整備させていただいているのが現状です。ご要望の路線の大塩町から森久町までの区間は、ほ場整備事業により拡幅されたことから路線の幅員が場所によって様でなく、部分的に車のすれ違いが困難な場所があるために一層狭く感じるかと思っておりますが、すごく危険性が高いとはいえないと考えております。

ただし、ご意見のように冬季間における除雪時には、なるべく広く車道を確保することや待避場所を造るなどしておりますし、今後も除雪業者に指導をまいりますので、ご理解願います。

なお、このような道路拡幅改良や舗装修繕、側溝改良などの道路事業に対する要望は、各地区から数多く出されており、以前からの要望にも対応できていないのが現状であります。

市の財政状況が非常に厳しい中、皆さまのご要望すべてにお応えできないことを、是非ご理解願います。

## 意見交換

Q 6 :

市の職員数、平均年齢等を教えて欲しい。また、市は高齢者に配慮した資料づくりができていないのではないか。

A 6 : 財務課長

職員数につきましては、合併時は741人でしたが、今年の4月現在で679人まで削減しました。平均年齢は、行政職で43歳9ヶ月です。また、資料が見にくいというご意見でしたので、今後、見やすい紙面づくりを心がけたいと思います。

Q 7 : 白崎町区長

昨年、区長会として「王子保駅西側の乗降口設置について、JRに要望していただきたい」と要望させていただきました。その後、進展がありましたら、お聞かせ願いたいと思います。

A 7 : 公共交通対策室長

西側に昇降口を設置しますと、白崎町の方のローソンから計測しますと70メートルくらいで、国兼町の方から計ると370メートルくらいでありますので、線路の西側の人たちから考えると非常に便利になります。平成18年・19年からずっとご要望をいただいている件でありまして、JR西日本金沢支社の方に何度も強く要望を行っています。

先日、4月13日にJR側から回答がありましたが、非常に高いハードルの条件が提示されました。JR側も法的に非常に厳しい基準を持っておりまして、必要な設備ということで、階段とバリアフリーに対応するために車椅子の方も上げられるようなスロープ、事故もあつたので転落防止柵、危険箇所安全柵、改札口、駐輪場、パークアンドライド施設等を造る必要があるなど、東側と同じような整備を求められています。

それと、あくまでも見込みとして提示されているのですが、設備投資に1,000万円以上かかるということです。2つ目の条件として、無人だとお客様が自由に線路上を通行してかえって危険な状態を招くということで、管理人を西側にも置く必要がある等、安全面での維持管理が必要だと条件が付けられました。

安全面や法的な点などをクリアするために、設置する費用やランニングコストも多額の費用を要する厳しい条件を付されたわけですが、時代も少しずつ変化していく中で、JRに対しましては、何とか簡易な対応策がないかということで、継続的に要望してまいります。

Q 8 : 白崎町区長

本日の配布資料の平成 21 年度当初予算の特徴の歳出の 企業立地の促進というのがあり、池ノ上工業団地整備事業など書いてありますが、さらに拡張があるのかどうか教えていただきたい。

2 点目は、安全で安心なまちづくりの中に、防災行政無線の増設事業があげられています。王子保地区を含めてモーターサイレンの整備をしていくとのことですが、王子保地区の場合、王子保公民館の屋上にモーターサイレンが付いています。それとは別に整備されるつもりなのか、公民館のものを活用されるのか、具体的な方向性があるのならお聞かせいただきたい。

もう一つお願いしたいのが、「市民生活の安全と安心を最優先」の「その他」で、介護保険料や国民健康保険税の据え置きということで、他の市町にはない措置をしていただいているということですが、この据え置きが今年据え置いただけで、来年以降に跳ね返ってくるようでは困ります。本当に考慮していただいて、減額という位置付けになっているのか、お尋ねします。

A 8 : 財務課長

まず、池ノ上工業団地の拡張の件ですが、本年度から土地開発公社で予算を持ちまして、拡張を計画いたしました。今年度と来年度の 2 ヶ年で実施していく予定です。

介護保険につきましては、3 年おきに事業計画を立てて、見直しを行いますので、21、22、23 年度の 3 年間は、基本的にはこの金額でいくという計画になっております。

モーターサイレンの件につきましては、防災行政無線の屋外拡声器の音が聞こえにくいということで、モーターサイレンを全体で 12 基設置する予定で、今年度はそのうち先に 6 基の予算を持ちました。聞こえない地域も聞こえるようにということで、別に設置する予算です。

A 8 : 市長

補足しますと、池ノ上工業団地の件につきましては、企業から市内での事業拡張に対する前向きのご提案をいただいておりますので、企業の事業展開を想定して誘致を進めているところです。

Q 9 - 1 : 瓜生野町区長

春日野町の鴨谷霊苑が空くことはないのかと聞かれていますので教えてください。また、国道よりのところで空いている所がありますが、活用予定がありますか。

A 9 - 1 : 財務課長

鴨谷霊苑については、いっぱいの状態です。年に何箇所か空くことがあるので、その時は抽選ということになっています。斎場に行くまでの広場につきましては、地元との話もあるかと思いますが、私どもも詳しくは存じ上げてはおりません。今のところ何に使うという具体的な計画はないと思います。

Q 9 - 2 : 瓜生野町区長

広場については、春日野公園を造る計画があったと聞いていますが。

A 9 - 2 : 財務課長

計画は存じておりませんが、ご意見があったことを担当部署に伝えさせていただきます。

Q 10 :

王子保には、塩の道というのがあるのですが、紫式部が通ったという説もあります。古代の道として、調査・整備してほしい。

A 10 : 財務課長

貴重な意見として持ち帰り、担当部署に伝えます。

終わりのあいさつ（振興会事務局長）

毎年、市長と語るということで、機会をいただいております。こういう機会を利用して、一つでも二つでも、直接皆さんとお話していただいて、市長の生の声をお聞きすると同時に、皆さんの声も聞いてもらって、少しでも王子保地区の発展につながればと思いますので、こういう機会をこれからも大事にしたいと思います。

また、来年も参加をお願いします。

本日は、どうもありがとうございました。

閉会